



清張生誕 100年 記念作品
清張作品の魅力と、その真髓に迫る
『週刊 松本清張』
2009年10月13日（火）創刊
<http://deagostini.jp/msc/>
全13号、創刊号特別定価 290円/税込
2号以降通常定価 580円/税込



株式会社デアゴスティーニ・ジャパン（本社：東京都中央区、社長：大谷秀之）は、毎号、松本清張の代表作から1作品を取り上げ、松本清張とその作品の魅力を経験から紹介・検証する、『週刊 松本清張』（全13号）を、2009年10月13日（火）より全国書店（一部地域を除く）及び、当社ホームページにて発売いたします。

本シリーズは、今年、生誕100年を迎える昭和の文豪、松本清張とその名作の魅力を見つめ直すシリーズです。第1号から第12号では、厳選した作品を毎号1つ取り上げ、その解説はもちろん、作品のバックボーンとなった清張の貴重な取材メモや関係者の証言、写真やイラストなどを通じ、ビジュアル豊かに徹底紹介していきます。また、最終号の13号では清張の全作品の中から、これだけは読んでおきたい『清張名作選』をお届けします。

■豊富なビジュアルと貴重な資料で清張作品を徹底検証



毎号、「点と線」、「ゼロの焦点」などの代表作を、貴重な資料や写真などを用い、徹底検証。あらすじや人物紹介などの作品解説にとどまらず、作品のバックボーンである時代背景、創作秘話などからも作品の魅力に迫ります。

また、清張作品の肝でもあるトリックの解説もあり、ファンはもちろん、まだ小説を読んでいない入門者にとっても作品を読み解くガイドとして最適な構成になっています。

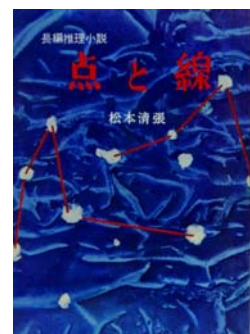
■人間・松本清張を切り口に、さらに清張文学の魅力に迫る

本誌の特徴として作品のみならず、作家・松本清張の人物像や、背景にも焦点を当てた構成となっており、西村京太郎、森村誠一、夏樹静子などの著名な作家が、「清張との思い出や清張作品」について熱く語っています。その他、過去の全作品を網羅したデータ、貴重な写真や清張自身のエピソードなど、清張を知るための情報を満載。作家・松本清張を徹底解剖することで、さらに深く、清張ワールドを楽しんでいただけます。



■創刊号は推理小説ブームを巻き起こした名作「点と線」

創刊号は、社会派推理小説の先駆け「点と線」を徹底紹介。清張の代表作であり、現実の社会問題と向き合った本作品は、史上空前の推理小説ブームを巻き起こし、国産ミステリーの黄金時代を築き上げました。この名作を検証するほか、作家・西村京太郎の清張との思い出、「点と線」につながるミステリー作品の紹介など、初めて清張に触れる人はもちろん、ミステリーファン垂涎の内容となっています。



【商品概要】



タイトル	『週刊 松本清張』
定 価	創刊号特別定価 290 円（税込） 2号以降通常定価 580 円（税込）
刊行開始日	2009年10月13日（火）
刊行形態	毎週火曜日発売（一部地域を除く）
刊行号数	全13号
判 型	A4変型判（32ページ） ※創刊号、第13号は44ページ

～ マガジンの構成 ～

『週刊 松本清張』は、8つの章で構成されています。

【清張徹底検証】

代表的な清張作品を毎号1つとりあげ、時代背景や創作秘話、人物相関図など、作品の魅力を5つの切り口から多角的に検証します。

【作品その後】

各号でとりあげた小説から派生した作品や事象を、エピソードなどとともに紹介。映像作品は監督や俳優のインタビューなども織り交ぜながら紹介します。

【名作のDNA】

清張研究者による清張ファンへの必読・お薦め作品ガイド。清張作品の影響を受けたものや、同じテーマを持つ小説などを毎号紹介します。

【清張を語る】

毎号、文筆家が清張との思い出や作品の魅力、自分に与えた影響を語るインタビューを掲載します。

[登場する文筆家]

西村京太郎、森村誠一、阿刀田高 ほか

【清張抄録】

旅好きで、紀行文の名手でもある清張の、貴重な紀行文を紹介。小説を書くときのヒントになったエピソード、取材旅行のこぼれ話や旅の思い出などが満載です。



【人間・松本清張】

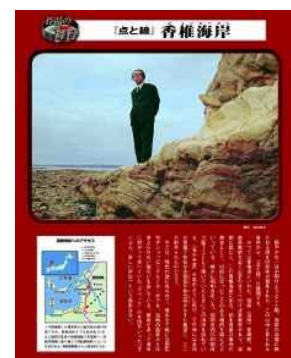
あまり語られることのなかった清張の人生を前史、作家史に分け、その生き様をエピソードや貴重なスナップ写真などととも紹介します。

【清張事典】

清張が発表したほぼすべての作品を推理小説・歴史小説・ノンフィクションなどジャンル別に分類し、ブックレビューも交えて50音順に紹介します。全号集めると完全な清張作品事典になります。

【作品の舞台】

清張作品の舞台となった土地を探訪します。



■本シリーズの全ラインアップ

- | | | |
|------|----------|--------------------------------|
| 創刊号 | 『点と線』 | (1957年) |
| 第2号 | 『砂の器』 | (1960年) |
| 第3号 | 『ゼロの焦点』 | (1958年) |
| 第4号 | 『黒革の手帳』 | (1978年) |
| 第5号 | 『わるいやつら』 | (1960年) |
| 第6号 | 『天城越え』 | (1959年) |
| 第7号 | 『けものみち』 | (1962年) |
| 第8号 | 『霧の旗』 | (1959年) |
| 第9号 | 『球形の荒野』 | (1960年) |
| 第10号 | 『夜光の階段』 | (1969年) |
| 第11号 | 『眼の壁』 | (1957年) |
| 第12号 | 『Dの複合』 | (1965年) |
| 第13号 | 『清張名作選』 | <44頁:特別増頁版> (人間・松本清張と清張事典の完結編) |



* 第13号に関しては最終号となるため、他の号とは章立てが若干変わります。

●本件に関するお問い合わせ先

共同 PR 株式会社：内藤、内田、塚
 TEL：03-3571-5326 FAX：03-3574-0316
 Email：deagostinipr@kyodo-pr.co.jp

●当商品の広報に関するお問い合わせ先

デアゴスティーニ・ジャパン 担当：遠田尚美・星野麻里
 TEL：03-3524-1610 Email：deapress@deagostini.co.jp

●読者向けお問合せ先（商品に関するお問合せ先）

デアゴスティーニ 読者サービスセンター TEL：0570-008-109
 （月～金 10:00～18:00 土日祝を除く）